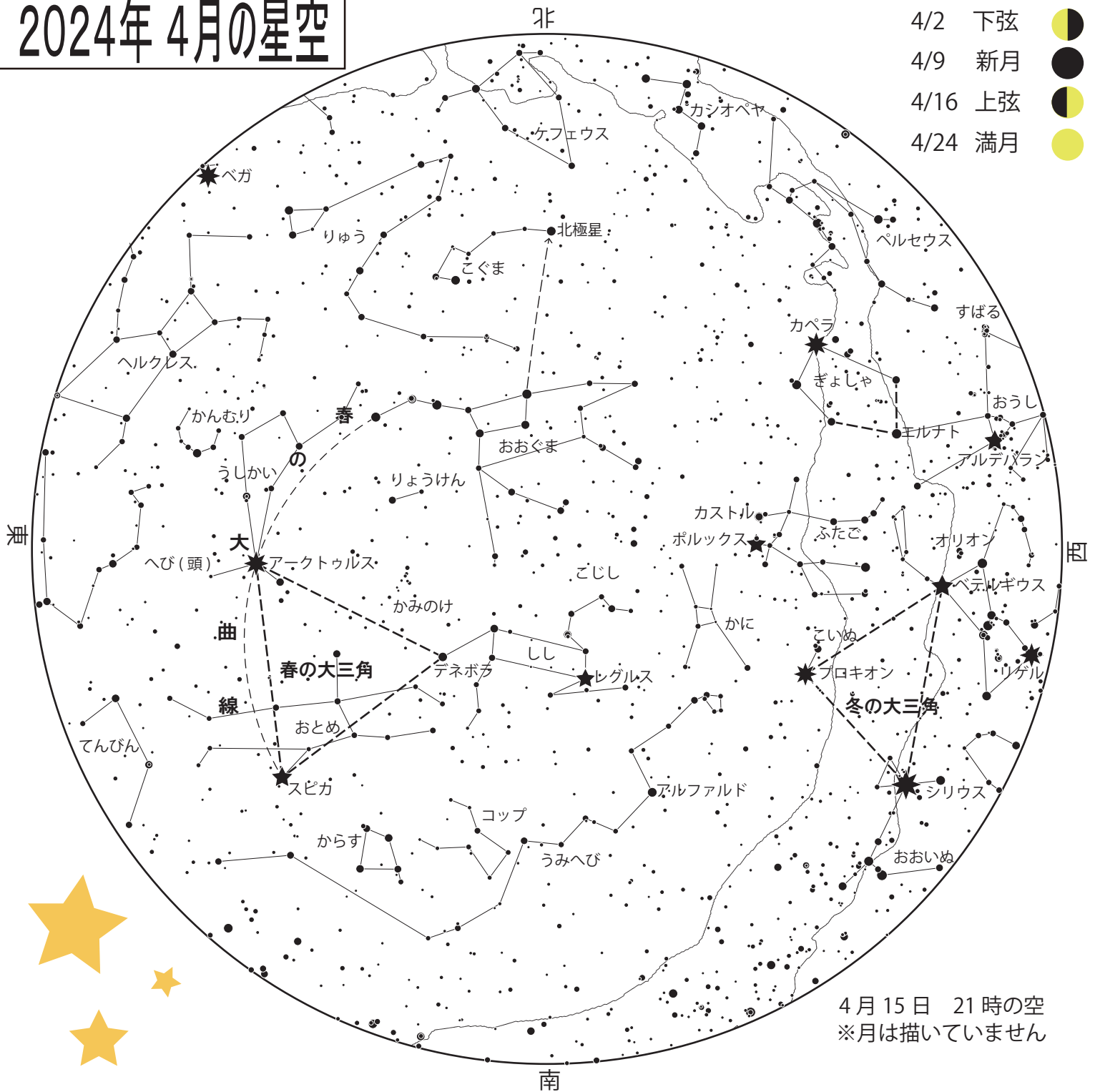


# 姫路で見る 2024年4月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 4/2 下弦 
- 4/9 新月 
- 4/16 上弦 
- 4/24 満月 



4月15日 21時の空  
※月は描いていません

4月、花の香りが夜風に混ざるようになり、季節は春本番です。しかし、夜空を見上げると、西の空にはまだ冬の星座が残っています。オリオン座の**ベテルギウス**、おおいぬ座の**シリウス**、こいぬ座の**プロキオン**を結ぶ「**冬の大三角**」は西の空で存在感を放っています。冬の大三角の上には、オレンジ色の**ポルックス**と白い**カストル**が目印のふたご座が昇っています。

ふたご座を追うように、春の星座のかに座としし座がそれぞれ南西と南の空に昇ります。しし座には、胸元の**レグルス**から「？」を逆さまにしたような頭、東側につぶれた四角い体があります。レグルスとポルックスを結んだ線の中央に、プレセペ星団を有するかに座があります。北の空には、「**北斗七星**」が見られます。ひしゃくの器の先を伸ばすと北の目印の**北極星**が、持ち手の先を伸ばすとうしかい座の**アークトゥルス**やおとめ座の**スピカ**が見つかります。このラインが「**春の大曲線**」です。アークトゥルスとスピカとしし座の尾にあたる**デネボラ**を結ぶと「**春の大三角**」を描くことができます。春の動物の星座たちは、冬を乗り越え、再び生命が咲き誇る春を迎えられたことを喜んで、生き生きとした姿を見せてくれます。